

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2022年11月2日時点)

▶ **ウクライナ軍**が東部ルハンスク州・ドネツク州及び南部ヘルソン州の**露軍への反撃を継続**する一方、**露軍**はミサイル、UAVや多連装ロケットによる**民間人や民生インフラへの攻撃を継続**している模様

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

ロシア軍: **死者5937人**(ショイグ国防相発言9月21日)

: **死者約7万2470人**、戦車喪失2698両、装甲車両5501両(「ウ」国防省11月1日)

: **死傷者7~8万人前後**、装甲車両喪失3~4千両(米国防省8月8日)

「ウ」軍: **死者約9千人**(「ウ」軍8月22日)

「ウ」市民: **死者6430人以上、負傷者9865人以上**(国連人権高等弁務官事務所10月31日)

10月30日「ウ」軍参謀本部発表によれば、**露軍はベラルーシへの兵力増強を継続**

11月1日、英国防省は、露軍がベラルーシのミンスク近郊の飛行場に、**空中発射型弾道ミサイル「キンジャル」及びその搭載機MiG-31Kを展開させた**との見方を公表

- 10月28日、露国防省系メディアは、ショイグ露国防相がプーチン大統領に対し、**予備役30万人の動員完了**を報告したと報道
- 同31日、プーチン大統領は、国防省の提案により**部分的動員を終了した旨**発言
- 11月1日、ペスコフ大統領報道官は、**動員終了に関する大統領令は不要**である旨発言

10月30日、ストリェク・セヴェロドネツク市長(「ウ」側任命)は、**露軍が同市への「ウ」軍の反攻を予期して兵力を増強するとともに、郊外一帯に地雷を敷設している**と発言

10月30日「ウ」軍参謀本部発表によれば、**露軍等はバフムート付近で攻勢を継続**

10月29日、スタルフ・ザポリヅジャ州知事は、**同日露軍がザポリヅジャ市の工業施設を破壊した**と発言

10月29日、露外務省は、「ウ」産穀物の**黒海経由の輸出に関する合意の履行を無期限停止**する旨発表。露外務省は「ウ」軍が同合意による民間船舶航路を利用して**クリミア半島の露黒海艦隊基地及び艦艇にUAVで攻撃を加えた**と主張



- 10月31日、ザルジヌイ「ウ」軍総司令官は、**露軍がミサイル78発**(Kh-101空対地巡航ミサイル55発、Kh-59空対地ミサイル1発及びS-300地対空ミサイル22発)及びUAV5機で**民生インフラへの攻撃**を行ったと発言。同日「ウ」軍は、巡航ミサイル44発を撃墜した旨発表
- 同日、「ウ」政府は、**露軍のミサイル攻撃により10地域の18か所のインフラ施設が損傷**したと発表。電力及び水道の利用に支障が生じた模様

- 主要都市
- ✈️ 主要軍施設
- 露軍が占領した地点
- 露軍が占領した地域
- ウクライナ軍が奪還した地域